委 員 会 会 議 録

（社）滋賀県トラック協会

会 議 名	平成２１年度（第７回）環境対策委員会
開催日時	平成２２年1月２８日（木）　１４：１０～１６：４０
開催場所	滋賀県トラック総合会館　３Ｆ研修室（１）
出 席 者	委員７名（内代理出席１名）、安田副会長、事務局２名

協　　議　　内　　容

定刻より１０分遅れて委員会開催。立野委員長から開会の挨拶が行われ、引き続き安田副会長より挨拶が行われた。立野委員長が議長となり、委員会審議が開催された。

議　題

（１）事業実施報告について

①第６回エコドライブ研修会

１月２３日に行われたエコドライブ研修会の実施報告が事務局より行われた。

また、今年度の予定を全て終了したことから、実施６回を取りまとめ、研修前と研修後では燃費が平均１４％向上し、参加者からの意見も好評であったとの報告も合わせて行われた。

②助成金交付状況

現在の助成金交付状況が事務局より報告された。

低公害車導入助成金や排ガス浄化装置等、予定していた数量・予算金額には至っていない状況である。また、本制度が十分周知できていない状況が考えられ、例えば低公害車を導入・助成機器を購入したものの、助成申請ができていないケースが考えられる。

協議の結果、未申請への対応として、案内文章を作成し会員事業者へ送付することとなった。

（２）事業計画について

①平成２１年度アイドリングストップ内部啓発について

前回の委員会にて決定したアイドリングストップ内部啓発グッズである、「ヘルメットシール」の見積もり及び作成イメージが資料に基づき事務局より説明された。

想定より、安価に作成することができることから、事務局判断として、ヘルメットシールに追加して、ダッシュボードに張るタイプの啓発シール案がその見積もりを踏まえて説明された。

協議の結果、印刷イメージと作成費用を考慮し、作成依頼業者を（株）ヤマプラに決定した。また、ヘルメットに張るシールは、湾曲したもの（ヘルメット）に張ることになるため、シールの大きさと素材を再検討し依頼することとし、作成数についても、１０,００

０枚で見積もりしていたが、１２,０００枚で作成することとなった。

②２２年度事業計画・予算について

・各種助成事業の見直し

環境に関連する各種助成は年度予算に達していないから（実績があがっていないから）次年度の予算規模を小さくするという性質のものではない。また、今年５月頃から販売が始まる「ポスト新長期規制対応車」は今後複数年、技術的にその基準をクリアできないようなガス規制であることから、現在、車両代替を少し待って、この最新車両の販売が始まってから、代替するという需要も考えられる。他方、ＣＮＧ車やＨＶ車は、車両利用方法が限定され、導入する事業者も限られているが、国もその導入を積極的に進めている状況がある。

さまざまな要因を取りまとめた結果、資料記載の予算額案から増額を行い、新長期規制対応車及び低燃費車は総額として２,５００万円、ＣＮＧ車・ＨＶ車は１,１００万円とする方針に決定した。

・エコタイヤ購入助成

燃費性能から環境負荷を低減する通称「エコタイヤ」の購入に対する助成を次年度に計画したい。他府県のトラック協会でも一部実施しているところもある。

通常のタイヤとエコタイヤでは約２,０００円の価格差があり、その部分に対しての助成として１本２,０００円の助成を行う。

対象となる品目は、ブリヂストン・ダンロップファルケン・ヨコハマ・トーヨー・ミシュランの低燃費（転がり抵抗の低減）性能を有する品目。

協議の結果、本事業の実施は承認され、２２年度より、年度の予算額は５００万円、１事業者１０万円までの助成とすることとなった。

詳細な運営方法を決定するため、対象となる低燃費タイヤの市場規模や、タイヤサイズのラインアップ等の確認をメーカー担当者と事務局にて行うこととなった。

・アイドリングストップ啓発活動

県内各地の交通安全協会と合同で春・秋の交通安全週間に実施した２回と、高速道路で６月に実施した１回の合計、年３回の実施は概ね好評であった。

このことから、次年度も今年度同様、年３回の実施とし、啓発グッズ（配付グッズ）についても現状通りのトラック型ボックスティッシュとすることが協議決定した。

・エコドライブ研修会

大型車研修を望む声があったことを考慮し、協議の結果、次年度は大型車での研修も追加し、各支部で参加者の半数を大型研修とすることが決定した。

（残り半分は従来どおりの中型車研修）

また、以前からの取決め通り、次年度は実施順を輪番し、甲賀支部から実施（４月）となる。さらに、乗車研修時の待ち時間の有効活用として、待合場所のバス内にて安全運転等のＤＶＤを放映することとした。

・植樹活動

前回委員会で、植樹から育てる活動への移行が検討されるとの事務局報告が行われたが、あらためて、「びわこ地球市民の森」担当者へ確認したところ、植樹場所の造成等に

て、あと２年は植樹可能とのことであったので、協議の結果、現状どおり、植樹としての活動を行っていくこととした。

（３）その他

事務局より下記の報告・説明が行われ、報告に対する承認及び協議決定が行われた。

・草津のＣＮＧスタンドの設備移設にかかる費用の内、約４００万円を分担金として拠出した。

・グリーン経営認証取得講習会を３年間実施してきた。当初の目的は達成したと考えられることから、次年度は設定しない。しかし、研修等を望む意見が出てくれば、実施の検討は行う。

・アイドリングストップ内部啓発費用は、今年度２００万円を予定していたが、今年度実績を踏まえて次年度は５０万円減の１５０万円として予算計上を行う。

以上で議事が終了し、次回委員会開催日を決め閉会。

■次回委員会

日　時　　平成２２年３月１２日（金）　開催時間未定

場　所　　未定